

授業科目名	社会の理解(2100113)		
時間割名	社会の理解(24104)		
時間割担当	中田正浩		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	火・4		

授業の目標・概要

この講義では、次の2点を中心にして、参加型講義を取り入れて、学習者が自分なりの社会科教育観を確立することを旨とする。(1)社会科がどのような経緯で誕生し、どのような目標が掲げられ、どのような教育内容(カリキュラム)になっているのかを理解する。また、どのような教授=学習過程を組織するか、いわゆる教育方法も含めて、自分なりの社会科教育観を確立する。(2)小学校社会科の教育内容を分類し、3・4年での地域学習、5年生での産業学習、6年生での歴史学習と「世界の中の日本」それぞれの内容について、各学問的なアプローチから掘り下げ、教科書の背後にある事象、事象間の関係、それらの構造について認識を深め、社会を意識的に見つめる態度を育成する。

学習の到達目標

小学校社会科における目標、内容構成、授業実践等に関する基礎知識を習得するとともに、小学校社会科の内容の理解や分析を通して実践的指導力を身に付ける。

授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
2. 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
授業の概要並びに目標・評価・予習・復習等についての説明
- 第2回 初等社会科教育の意義
日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領
- 第3回 初等社会科教育の発展
戦後の新教科「社会科」の誕生・民間教育団体の研究動向
- 第4回 初等社会科教育の目的1
学習指導要領の変遷と社会科の性格
- 第5回 初等社会科教育の目的2
学習指導要領における教科目標と学年目標・内容分類
- 第6回 初等社会科教育の内容1
地理学的なアプローチ (日本の国土と産業など)
- 第7回 初等社会科教育の内容2
地理学的なアプローチ (世界の国々と産業)
- 第8回 初等社会科教育の内容3
歴史学的なアプローチ (古代～中世)
- 第9回 初等社会科教育の内容4
歴史学的なアプローチ (近世～近代)
- 第10回 初等社会科教育の内容5
歴史学的なアプローチ (現代と国際社会)
- 第11回 初等社会科教育の内容6
経済学的なアプローチ
- 第12回 初等社会科教育の内容7
政治学・法律学的なアプローチ
- 第13回 初等社会科教育の内容8
倫理的なアプローチ
- 第14回 初等社会科教育の内容9
哲学・宗教的なアプローチ
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけた内容についてまとめる。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(30%)さらに、小学校社会科各分野についての課題レポートの探求の深さ・考えの斬新さを評価する。(30%)学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(40%)

授業時間外の課題

1. 毎時学習する内容については、事前に通告するのでテキスト・学習指導要領解説編・社会科教科書を熟読しておき、疑問点は講義の際に質問すること。
2. 小学校社会科教科書『新編 新しい社会』3～4年・5年・6年と「小学校学習指導要領解説 社会編」は、全て目を通しておくこと。

メッセージ

講義時間内にお伝えします。

教材・教科書

「小学校学習指導要領解説 社会編」 東洋館出版社
小学校社会科教科書『新編 新しい社会』3～4年・5年・6年 東京書籍

参考書